令和2年度　利用者アンケート結果

利用者アンケートの中の「コロナ禍の中で工夫していること」の全ご意見を記載しています。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

コロナ禍の中で工夫していること

・４月、５月活動せず。現在写経の多目的室で２０人以下で三密を避けてマスク、手洗い、換気に気をつけている。
・特になし、今年3月より定例会は、10月まで休会＆中止、但し、運営委員会（7名）は、毎月第1木曜日にぷらっと栄・会議室にて。実施、翌月の例会・休会・延期など全会員34名に文書＆電話にて実施、「11月より再開」の予定です。
・始めに全員の検温、ソーシャルディスタンスを充分に取っている。
・広い部屋を予約し、ソーシャルディスタンスをとっている。体温を測り手指消毒をしっかりするようにしている。

コロナ禍の中で工夫していること

・机と机の間をあけている。先生による作品の公表など以前は、全員作品のそばに密集していたが、離れてはなしを聞く。大声を出さない。

・感染ウイルス対策を実施して、活動してます。

（１）参加者人数の制限➡3密の回避

（２）身体的距離の確保

（３）手指のアルコール消毒とマスクの着用

（４）参加者の体調の確認

・模索中です。

コロナ禍の中で工夫していること

- お互いに電話で連絡を取り合ったりしてコミュニケーションをはかっています。活動は現在休止中です。
- ズームを使ってしばらく活動していました。
- 感染防止対策の徹底。(マスク、フェイスシールド)
- 密防止を図っています。
- マスクのまま唄ったり、三味線を弾いている。フェイスシールド、マウスシールドを購入した。
- マスク着用、教室での活動中は30分毎の換気。
  活動は主に矢沢コミュニティハウス。

コロナ禍の中で工夫していること

- 窓のある練習場を使っている。休憩中に窓を開けて換気している。
- 月1回行っている定例会の回数を減らしています。
- 他の施設での活動では、道具(ハサミやノリなど)を共有しない。個人指導する時は生徒さんの後ろからお手伝いするなどを気にしています。
- 10月より少しずつ活動し始めている。体育館に入る時、準備体操までマスク使用、大声を出さない、ハイタッチなし、使用した物の除菌。子ども達の入館を控える。
- 数か月活動を休んでいましたが、会場を使えるようになってから、会場の使用方法に合わせ、消毒、マスク着用、作業時の間隔を空けるなど気を付けています。

コロナ禍の中で工夫していること

・三密を避けるよう、外での活動を増す。プールなど難しい活動は、代わりにハイキングにする。活動前は、検温と手指消毒（室内の場合）活動後は、利用した物の消毒をする。

・会員相互の電話での健康確認を1/月回程度実施。

・募集方法をチラシが主だったのをホームページにした。参加人数を1回に1/3程度に減少して開催している。参加者は全員マスク着用。

・お稽古は3月～8月まで休み。9月から現在まで換気をしながら行っています。月2回1時間～2時間。

コロナ禍の中で工夫していること

- 総会や交流会などは、今年度は実施していません。できることを続けています。
- 紙芝居の講演時、マウスシートを使用しています。
- 会合の際には全員マスクを着用してもらっています。
- 机を”口”のかたちにしないで、学校スタイル（全員一方方向に向く）で主に発言する人は、前に立つようにしている。
- 10月中旬よりウイルス対策をして、お試しという事で月2回の練習をはじめています。
- 活動時間短縮。リモートの活用。フェースガード使用。

コロナ禍の中で工夫していること

・会議の回数を必要最小限にしている。会議時間を短時間に、三密回避の徹底、マスク着用、出席者の体調管理をしている。
・お茶をやめました。席を互い違いに間隔をあけて座っています。
・里山の仕事ですので、3密になることはあまりありませんけど、昼食時は、ベンチをなるべく離れてます。早く前みたいにならないかと、寂しい思いをしております。
・感染拡大防止対策を最大限に講じて活動している。（定例練習会(2か月に1度）今年の春の定期演奏会（リリス）は中止しました。
・ネット囲碁ができるように努力している。

コロナ禍の中で工夫していること

- 活動は広いスペースで十分な換気と人と人との間隔をあけて体を動かしています。発声はマスク着用でけいこを続けています。
- 密を避け、マスク、手洗い、うがいを活動中もこまめに行って意識を高めています。
- 人と人とつなげる活動なので、ほとんどの活動を中止しています。中村哲夫さんの映画会だけ11月に開催しました。
- 時短、定員制、内容変更。
- 3密に注力している。
- 感染予防対策を万全にして、来年1月より活動を再開する予定です。

コロナ禍の中で工夫していること

・マスク着用、3密は、避ける。ウオーキング中での大声、おしゃべりは、控える。
・本郷台駅構内に華席を置かせていただいてます。会員からはこの時期はどうしましょうと、私たちの生け花で少しでも明るい社会になりますように、頑張っています。
・日本サッカー協会、県協会、市協会等から提示されるガイドラインを中心に、クラブとしてコロナ禍での活動ガイドラインを新たに設けている。具体的には、活動前の検温記録、活動場所（グランド）への大人の立ち入りの限定、活動前後でのマスクの着用、消毒、車での移動時の人数限定等々。

コロナ禍の中で工夫していること

・カフェ参加者を事前申込制に変更し、施設のガイドラインに沿った人数にしている。
・感染防止策（検温他参加者の健康状況チェック・マスク着用・三密を避ける）を徹底して、限定的ではあるが活動を実施している。
・集いの場では　定員の30～50%で活動を継続中、情報収集及び会議・講演会等はZoomなどを活用している。
・世間一般と同様の対応を行っています。オンライン会議(Zoom）の活用、活動の自粛、マスク着用、消毒、検温、ソーシャルディスタンスの確保等々です。

コロナ禍の中で工夫していること

・現在、コロナの感染拡大を注視しており、当倶楽部の活動全般を中止しております。

・活動に入っていた施設に連絡し、状況を聞き、会として、いつでも活動する用意と情熱があるむねを伝え、関係が切れないようにしている。手紙での交流も検討したが、認知症の方が多く、難しそうだ。オンライン傾聴ができないか模索中。会員のスキルが落ちないよう定例会のたびに学びなおしをしている。休んでいる会員に連絡し、たわいない会話でもよいから、会との関係が途絶えないよう働きかけている。

コロナ禍の中で工夫していること

・三密にならない様にしている。
・グループミーティングを Zoom でやっている。活動そのものは、消毒や3密をさけるための配慮をしている。
・連絡にライン活用している。
・特になし。現在は安全第一にして、活動を自粛している。
・メンバー同士で栄区民活動センターを借りて情報の交換や「3密」を避けて、郊外で健康ウオーキングをしている。
・イベントに訪問の際はマスク着用、手洗いの実施を心がけています。
・２０２０年度は、ほとんどの大会を中止とした。

コロナ禍の中で工夫していること

・日本語教師も日本語学習者も使い捨てビニール手袋を利用するようにしている。
・オンラインでの講義。
・講演会の密集を防ぐことに努めている。
・感染予防対策を実施、あるいは実施して頂いて、落語会を開催しています。止むえぬことと思いますが、労力とコストがかさばり、いつまで気力・体力が続くかお愉しみというところです。
・検温の実施、報告の義務化活動場所での手洗い、除菌アルコールの配備。

コロナ禍の中で工夫していること

・活動の一時的休止、三密回避。
・マスクの着用、手の消毒、換気など感染防止に心がけている。
・３月から、イベント中止が相次ぎ、９月から公演のご依頼を受けて再開しました。公演時はマスクを着用し、お客様は間隔をあけ、喚起に気を配っています。
・緊急事態宣言の外出自粛中は、通信句会（リモート句会）で対応。
・会合の回数を効果的に減らす。
・横浜市からの指導で充分でした。
・会場が、クローズになった場合は、ネットで歌会を開いている。

コロナ禍の中で工夫していること

- ４半期ごとの役員会は、「ぷらっと栄」の規制に従う。春、秋の展示会は、リリスの規制に則り開催。それ以外は、個人ベースの活動なので、各自対策を講じつつ制作活動を行う。
- 大きなお部屋で、ソーシャルディスタンスを保ちながら、楽器指導、活動をしています。
- 多人数のため、ソーシャルディスタンスが取れかつ換気の良い施設としてリリスホールの客席を利用して合唱練習をしている。
- 感染防止対策
- 練習場所で、検温、マスク、消毒、換気、人数制限　など

コロナ禍の中で工夫していること

・mail・　Zoomで連絡取り合った。会員内に新聞を作成し連帯を保つため配布した。
・感染予防対策は徹底している。そのうえでの活動としている。
・集まる機会が減少した。
・各人の予防対策、ソーシャルディスタンス、会議は最小回数で短時間で終了を心がけている。
・分散行動を徹底して活動を継続している。
・出来る限りの感染予防対策をして活動しています。検温、アルコール消毒、換気、ソーシャルディスタンス、演奏時以外はマスク着用、など。

コロナ禍の中で工夫していること

・マスク着用、ソーシャルディスタンス、消毒。
・コロナ禍の中、感染拡大の懸念の為、4月から現在に至るまで休止をしております。利用者との繋がりを保ちたいとの想いから工夫をして再開することをスタッフで検討を重ねておりますが、私達の活動は空き家を利用してのサロンであることから、会場の狭さ・完璧な消毒・万が一感染者が出た場合の対応などの大変さを考えると難しいです。
・新型コロナウイルス感染拡大の為、工作棟部会は休止状態です。

おわりに

「利用者アンケート結果」では、ご意見を集約させていただきました。
たくさんのご意見をありがとうございました。